

市民と  
連帯

みなさんの暮らしの声を議会場で発言  
市政すすめる日本共産党名古屋市議団

# 自動車図書館廃止。とんでもない!

名古屋市の自動車図書館は、児童ら年間4万人が利用し、23万冊が貸し出されています。河村たかし市長は廃止方針を出しました。市民は「続けてほしい」と署名運動。日本共産党は市議会で「自動車図書館の存続を」と訴えました。



市民に愛されている自動車(移動)図書館 (市のホームページより)

議会場で訴えました



市議会本会議で自動車図書館を利用する児童の写真パネルを示し、存続を市長に求める、わしの恵子日本共産党市議団長 (3月4日)

**河村市長さん、責任放棄です!**  
市長の発言 「税金でやらないか。民間でやれんのか。昔流なら、紙芝居。いくらかカネ払って水アメ食わせてもらって、ああいう感じでもいいんじゃないか」

**変です。河村予算 2010年度** 日本共産党は市議会で追及しました

**市立病院廃止、保育料値上げ...**  
庶民には、わずかな減税が吹っ飛ぶ市のサービス廃止と値上げです。  
■城西病院(中村区)、苗代保育園(守山区)の市営廃止  
■第3子の保育料無料化廃止、午後4時以降の保育料値上げ

**COP10なのに環境行政つぎつぎ後退**  
市内16保健所の公害環境部門を4保健所だけに縮小、大気汚染測定局を28局から17局に削減、市立環境科学研究所を廃止、天白区平針の里山開発を許可。

**効果ギモンの大企業・金持ち誘致に8500万円**  
「金持ちはゼロ」の公約にそむく、大企業・富裕層に手厚い「市民税減税」を売り物に、市役所総動員の「住んでちょう! ナゴヤ大作戦」に8500万円。  
「見直し」公約を投げすて、JR博物館づくり、名古屋城本丸御殿復元続行に続いて天守閣建て替え……。大型事業ぞくぞくです。

予算の組み替え求めます  
市長さん! 公約守り中学校卒業まで通院も医療費無料化を  
市民犠牲やめ **くらし・福祉・教育重視に**

くらしと市政のご相談はお気軽に —— 日本共産党へ



北区 梅原紀美子 TEL 915-2705  
西区 わしの恵子 TEL 532-7965  
昭和区 さとう典生 TEL 853-2801  
中川区 江上博之 TEL 363-1450  
港区 山口清明 TEL 651-1002  
守山区 くれまつ順子 TEL 793-8894  
緑区 かとう典子 TEL 892-5190  
天白区 田口一登 TEL 808-8384

- 東・北・西・中区は… TEL912-6096
- 千種・名東・守山区は… TEL762-6820
- 中村・熱田・中川区は… TEL411-4161
- 南・港・瑞穂区は… TEL652-1841
- 昭和・緑・天白区は… TEL807-1092
- 愛知「赤旗」無料生活・法律相談所  
…………… TEL262-2804

「民主党もか」—国政で相次ぐ「政治とカネ」の問題、市政では不透明な政務調査費の使いみち、市民に見えない議会内容…。いま改革が求められています。「日本一、市民に開かれた市議会」づくりに取り組む日本共産党名古屋市議団は2月27日、市民参加の議会改革シンポジウムをひらきました。



会場いっぱい約200人の市民が集まった日本共産党名古屋市議団主催の「議会改革シンポジウム」＝2月27日：名古屋市中区・市教育館

# 日本共産党 市議団が 議会改革シンポジウム

日本共産党は 市民の期待にこたえ

このシンポでは、憲法学者の小林武・愛大教授、住民投票を実施した岐阜県御嵩町の柳川喜郎・前町長、議会改革にとりくむ日本共産党市議団の江上博之幹事長が発言。市民も自由に意見を述べました。

憲法を生かす

愛知大学教授  
小林 武さん

二元代表制のもと、議会が第一義の代表機関。議会改革という制度転換は住民投票になじまない。議会自身が進めるべき。

市民が決める

御嵩町前町長  
柳川 喜郎さん

少数意見に耳を傾けるのが民主主義。定数や報酬は議会のお手盛りも市長のごり押しもよくない。第三者機関で検討を。

自主改革を

日本共産党市会議員  
江上 博之さん

日本一市民に開かれた議会にするための議会基本条例と住民投票条例をつくる。定数削減は民意削減。民主主義を守る。

- 議会基本条例
  - 常設型住民投票条例
- 実現に取り組んでいます。

こう考えます

議員の報酬

高額報酬は見直しが必要。では、いくらか。議会のお手盛りや市長の押しつけでなく、市民参加の審議会で検討します。

議員の定数

名古屋市の定数基準は88（地方自治法）。現行75はすでに13減。定数削減や小選挙区導入は民意切り捨てになります。

政務調査費

政務調査費は地方自治法に定められています。問題は透明度の低さ。1円以上の領収書を公開し、ムダをはぶき減額することです。

あぶない

河村市長の「議員定数半減」「議員報酬半減」「政務調査費廃止」はマニフェストにないもの。中身もやり方も乱暴です。

「ファッショ独裁につながる」柳川さん

柳川喜郎・前御嵩町長は、河村市長がかかげる「定数削減のような強烈なことはファッショ（独裁）につながる」と指摘（「朝日」12月11日付）。  
「河村市長支援団体 柳川氏が代表辞任」（「中日」3月9日付）

河村「議会改革」

定数半減 「市民の政治参加拡大」はゴマカシ 「死票」、無投票増え 民意とどかず

河村市長は県議選に準じて市議定数を半分減らすといます。前回県議選では市内の1人区・2人区の4割の選挙区が無投票で「指定席」化。選挙になった区でも議席につながらない「死票」がたくさん出ました。定数の削減は民意の削減です。

地域委員会

実は行政機関

河村市長が「ボランティア議会」という地域委員会。共産党議員の質問に市長は「行政機関」と認めました。

市長発言

市長と議会の二元代表制は「立法ミス」（「毎日」11月2日付）  
—市長の強権政治につながる発言です—

キリトリ

市民 アンケート 議会改革

（議会基本条例、定数、報酬、政務調査費、議会報告会など議会のあり方について）

●ご意見をお寄せください（別紙でもかまいません）。市議団ホームページのご意見欄もご利用を。

<送り先> 日本共産党名古屋市議団 FAX052(972)4190 <http://www.n-jcp.jp>